

財政状況の公表

歳入決算額	50億3,371万円
歳出決算額	43億8,105万円

平成28年度

一般会計 決算の概要

●歳入

歳入決算額は、50億3,371万円円で、前年度と比べ4億8,098万円の減額となりました。

歳入決算額を財源別にみると、町税、使用料及び手数料等、町独自で得ることのできる自主財源は、前年度と比べ5.2%減の21億9,436万円円で、歳入決算額の43.6%となりました。また、国庫支出金、町債及び地方交付税等の依存財源は、前年度と比べ11.3%減の28億3,935万円円で、歳入決算額の56.4%となりました。

また、平成28年度から川西保健衛生施設組合の管理市が東御市になったことにより（平成22年度から平成27年度までは立科町が管理町）、普通交付税約9,100万円が減額となりました。

●歳出

歳出決算額は、43億8,105万円円で、前年度と比べ4億5,915万円の減額となりました。

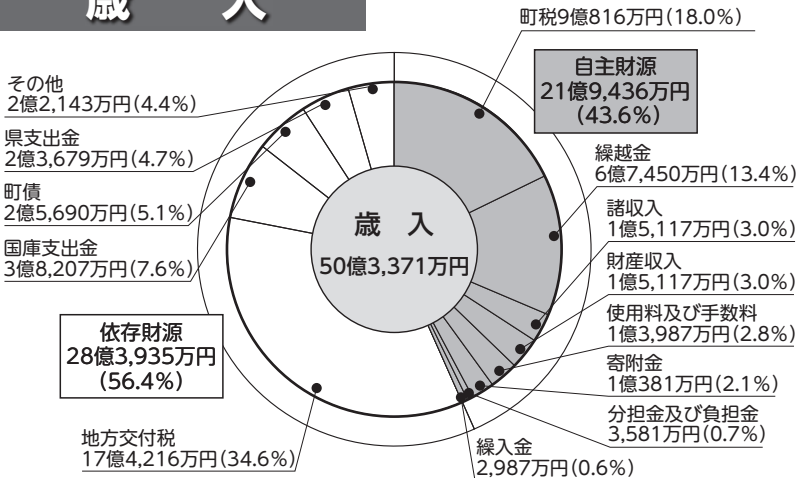
歳出の目的別では、総務費が10億7,433万円（23.0%）と最も多く、続いて民生費8億8,465万円（20.2%）、土木費7億9,535万円（18.1%）の順となりました。

歳出の性質別では、防災行政無線整備事業（平成27年度実施）等の大型事業がなかったことから、投資的経費である普通建設事業費が前年度と比べ38.5%減の6億3,241万円と大幅な減となりました。また、借入金返済にあたる公債費は、前年度と比べ10.2%減の2億9,365万円となりました。

なお、歳入決算額から歳出決算額を差引いた形式収支額は、6億5,266万円円で、このうち平成29年度に繰越した事業に充てるための財源4,210万円を除いた6億1,056万円が実質収支額となりました。

※文章、表及びグラフ等の金額及び比率等の数値は、端数調整を行っています。

歳入



町税の内訳	決算額（前年度比）
町民税（個人）	2億7,567万円（△0.8%）
町民税（法人）	8,848万円（76.2%）
固定資産税	4億3,460万円（0.5%）
軽自動車税	2,996万円（21.1%）
町たばこ税	4,338万円（△1.2%）
入湯税	3,607万円（11.7%）
計	9億816万円（5.4%）

区分	平成28年度 決算額	対前年度 増減額
町税	9億816万円	4,678万円
繰越金	6億7,450万円	△2億2,241万円
諸収入	1億5,117万円	726万円
財産収入	1億5,117万円	△1,285万円
使用料及び手数料	1億3,987万円	△555万円
寄附金	1億381万円	6,379万円
分担金及び負担金	3,581万円	△642万円
繰入金	2,987万円	939万円
地方交付税	17億4,216万円	△1億5,78万円
国庫支出金	3億8,207万円	7,691万円
町債	2億5,690万円	△2億7,270万円
県支出金	2億3,679万円	△3,897万円
その他	2億2,143万円	△2,043万円
計	50億3,371万円	△4億8,098万円

主な増減理由

- 町税……………町民税（法人）の増
- 寄附金……………ふるさと寄附金の増
- 分担金及び負担金…広域入所保育負担金の減
- 繰入金……………ふるさと基金からの繰入金増
- 国庫支出金……………地方創生加速化交付金の増
社会資本整備総合交付金の増
- 町債……………起債対象事業の減
- 県支出金……………再生可能エネルギー基金事業の減